

教科(科目)	商業(国際ビジネス)	実施学年 (履修規定)	3学年 必修
単位数	3単位	教科書	実教出版 国際ビジネス
		副教材	国際ビジネス問題集
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営, 経済活動に関する基礎的・基本的な知識を, わが国の企業経営の国際化と結びつけさせながら理解させる。 ・豊かな国際性など国際社会で生きていくための心構えを身に付けさせ, 国際的なビジネスの諸活動に適に対応するための能力と態度を育成する。 		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの国際化にかかわる身近な事例を通して, ビジネスの諸活動に必要な経営や経済に関する基礎的な知識を習得させる。 ・国際社会に対する視野を広め, 相互に協調していく精神と態度を育成する。 ・企業経営や国際経済の現状や課題については, 具体的な事例を通して考察させるとともに, ビジネスに必要とされる基本的な用語は英語表記とあわせて指導しながら理解を深めさせる。 		

進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	第1章 くらしと企業 (1) 企業の活動と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国民経済の仕組みの中における企業の果たす役割を理解させる。 ・企業の一般的な活動の循環過程や利害関係者に対する役割についても理解をさせる。 ・企業の成長が, 経営理念や従業員の資質などの内部要因, 消費者や競争企業などの外部要因によることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・プリント ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 ・要点がきちんとノートに整理されている。
5	(2) 企業の成長と地域の発展 (3) 企業の国際化	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の成長が地域経済や国民経済の発展に大きく関係していることについて理解させる。 ・企業活動の国際化に伴い, 人, 物, 金, サービス, 情報等の経営資源が国境を越えて自由に交流していることについて, 具体的な事例を取り上げ理解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・行動観察 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に取り組む学習の内容に対する理解度が十分である。 ・プリントがきちんと提出されている。
中間考査				
6	第2章 わが国の企業経営 (1) 企業経営の特質 (2) 企業経営と外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の企業経営の特質について, 資金調達の方法, 雇用慣行, 企業間関係等の側面から理解させるとともに, これらが, わが国の企業の発展に大きく貢献してきたことや, 国際化, 情報化等の進展の中で様々な課題が生じていることについて理解させる。 ・国際化, 情報化, 規制緩和など, 市場を取り巻く環境の変化や消費構造の変化を取り上げて, これらの変化に対応した企業経営について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 ・プリント ・行動観察 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集の提出期限がきちんと守られている。 ・大切な用語や要点など要領よく適切にノートに整理されている。 ・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。
7	(3) 企業の社会的責任	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を取り巻く環境の変化を踏まえて, 経済社会の一構成要素としての企業の責任について理解させる。 ・環境問題やエネルギー問題などに対する企業の社会的責任についても理解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・問題集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートが提出期限にきちんと提出できている。 ・要点の整理がきちんとできている。
期末考査				
8	夏期休暇			

9	第3章 わが国の経済 (1) 産業構造 の変化と労働・ 消費 (2) 国民所得 と経済成長	<ul style="list-style-type: none"> わが国の経済におけるサービス経済化や産業構造の変化について、生産、労働、消費の側面から理解させる。 経済の発展に伴い労働市場がどのように変化してきたか理解させる。 わが国の経済の規模を表す国民所得とその内容を理解させる。 国民所得の量的拡大としての経済成長、成長の要因及び制約要因について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 プリント ノート 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 プリントの整理がきちんできています。 要点が適切にまとめられている。
10	(3) 財政と金融 第4章 国際経済と企業 経営 (1) 貿易と国 際収支	<ul style="list-style-type: none"> 国や地方公共団体が行う経済活動としての財政の役割と仕組みを理解させるとともに、わが国の金融の仕組みと金融政策について理解させる。 バブル経済が崩壊したのちに、わが国が行った金融システムの改革について理解させる。 わが国の輸出・輸入の変遷を取り上げて貿易の動向を理解させるとともに、国際収支の意義や動向について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 行動観察 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 問題集の提出がきちんできています。
中間考査				
11	(2) 外国為替 と国際金融 (3) 企業の海 外進出と経営	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な資金の流れ、国際金融市場の仕組みや役割を理解させるとともに、金融の国際化の現状について理解させる。 外国為替の仕組みを理解させるとともに、為替相場の変動などの問題とその対応策についても理解させる。 海外進出企業の現状と海外進出に伴う地域社会への貢献や労働に関する問題などを取り上げて、国際化の中の企業経営の現状について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集 プリント 行動観察 ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 要点がきちんとしてノートに整理されている。 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 ノートの提出がきちんできています。
12	(4) 国際マー ケティング	<ul style="list-style-type: none"> 販売戦略としての国際マーケティングの必要性を理解させるとともに、国際市場をターゲットとする多国籍企業の国際的なマーケティング活動と手法について理解させる。 経済の発展により市場がどのような要因でグローバル化してきたか理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集 ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 ノートの提出がきちんできています。
期末考査				
1	第5章 国際経済事情 (1) 国際交流 の諸課題 (2) 国際機構 の役割と課題	<ul style="list-style-type: none"> 人、物、金、情報等の国際的な移動に伴う経済、文化、環境面などに関する諸課題と貿易摩擦の要因と対策について理解させる。 世界経済の発展・成長をねらいとした国際機構を取り上げて、国際経済体制の変化とその役割や課題について理解させる。 国際機能には、どのような機関があるか具体例をあげて説明し理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 問題集 ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。 要点がきちんとしてノートに整理されている。
2	(3) 地域経済 事情	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展、成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について理解させるとともに、世界の諸地域の経済事情について、具体例を取り上げて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度が十分である。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度

ビジネスの国際化にかかわる身近な事例を通して、ビジネスの諸活動に必要な経営や経済に関する基礎的な知識を習得させ、ビジネス社会で活躍する人材の育成に努める。

思考・判断

企業経営や国際経済がかかえる諸課題について様々な角度から考察し、問題を解決するために取り組んできたどのような政策や改革が行われてきたかについて考えさせる。

技能・表現

企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識や技術を活用して、ビジネスのグローバル化に対応するための取り組みなどを適切に表現する。

知識・理解

国際社会の中で行われる経済活動や問題解決のための政策について理解を深め、グローバルなビジネス社会で実践的に活躍するために必要な知識や活用方法を理解している。

「国際ビジネス」の総合評価における各観点の割合

関心・意欲・態度	10 %程度	知識・理解	10 %程度
思考・判断	15 %程度	技能・表現	15 %程度
定期考査	40 %程度		